

協 同

小山展弘後援会報
平成 29 年
11 月 1 日号

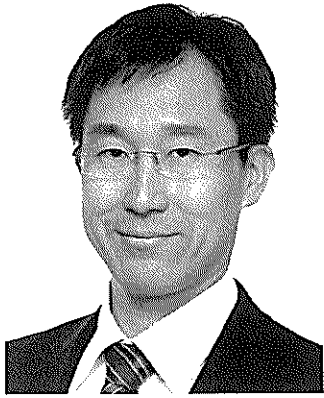
<編集・発行>
小山展弘後援会
〒438-0078
磐田市中泉 656-1
TEL; 0538-39-1234
FAX; 0538-39-1235

捲土重来を期す！
原点に戻って頑張ります！

～ 協同・連帯 共生・安心～

前衆議院議員

小山のぶひろ



氏に訊く

○声援ありがとうございました

10月22日に行われた第48回衆議院議員選挙では、野党が混乱を極める中、無所属で出馬することとなり、81568票をいただきながらも、当選できませんでした。皆様のご声援に答えることができなかったことについて、大変申し訳なく思っております。

私は一般的なサラリーマンの家庭で育った徒手空拳の人間です。私のような人間が国政に携わる際に、政党の存在ぬきには語れません。私に仕事をさせていただく場を与えていただいた民主党、進党とその仲間に、心から感謝しております。ですから、合流方針が発表されるまでは、党勢がどんなに厳しくても、進党からの出馬を考えていました。様々な経緯の後、無所属での出馬になりましたが、連合静岡さんが全国に先駆けて推薦決定していただき、進党静岡県連からも推薦決定いただき、涙がにじむほど有難く、また、心強く感じました。政治においても裏切らず、信頼が第一であると改めて強く実感いたしました。また、今回は無所属ゆえ、政党の政策・理念と所属議員個々の政策・思いが、100%一致するということはありません。私個人の理念や信条

に、正直に訴えることができました。

小泉政権以降、規制改革会議や国家戦略特区会議が推進してきた規制改悪、行き過ぎた市場主義など、自民党が都市型政党としての色を強める中、地方は置き去りにされ、地方創生も掛け声ばかりです。地方経済は決してよくありません。希望の党は、東京ばかりを向いて、地方経済の発展、農業政策など、地方に対するまなざしを感じるものではありません。私は、戦後の穏健な保守政治家たちが、日本の政治を導いてきた「都市と地方の格差の是正、均衡ある日本経済・社会の発展」こそが求められていると訴えました。そして、本来は新自由主義で行くのか、それとも均衡ある経済・社会の発展を期すのか、経済・社会・ビジョンを軸とした、自民党も巻き込んだ政界再編こそ求められていると考えています。

私は「報徳立国・日本を創ろう」と訴えてきました。二宮尊徳の思想を現代風に解釈すれば、会社の利益は株主のためだけでなく、会社の経営陣と社員を含む構成員の勤労に報いるものでなければなりません。労働法規制は適正なものを維持するとともに、一人一人が豊かになり、国民の生活が安定し、将来に対する不安が取り除かれ、安心して働くことができる環境を整えてこそ、個人消費は伸び、経済は活力を取り戻すと考えております。まさに連合の皆様の理念と一致するものと思っております。

今回の選挙では、必ずしも自民党や与党に対して大きな強い支持があったわけではないにもかかわらず、野党が分裂し、「受け皿」を自ら割ったところに大きな失態がありました。無党派の皆様の「シラケ」を選挙戦の後半には感じました。野党は一本化されるべきです。党は違っても棲み分けをすべきだと思えます。私は志を変えることなく、捲土重来を期したいと思えます。今後ともご声援賜りますよう、よろしく願います。

前衆議院議員 小山展弘